

優秀賞（西陵 森真里奈さん）

構図の大胆さが、応募作のどれよりも際立った作品である。課題図書が「斜面を駆け下りる」ものであったため、多くの作品が紙面を斜めに切る構図を持っており、変化をつけるという意味ではよく工夫されていたとは言えるが、本作のように主人公の頭部が紙面からはみ出て、描かれていない構図のものはほとんどない。主人公「豆太」の全身をその名の通り小さく小さく描いてその健気を強調するのも一つの方法ではあるが、本作のように大きく切り取り、しかもシルエットにすると、主人公自身の心細さ、恐れ、待ち受ける不可思議な存在への畏怖が、見る側にも共有されるように思われる。白と黒の配色も的確で、ワンポイントの黄色い月、木の一部に用いた白い半透明なプラスチック様の素材など、全体に「風雲急を告げる」雰囲気が出ている。キャッチコピーは小さいが、全体の構図でアイキャッチすれば自然と読むことにもなろう。一にも二にも構図の際立った逸品である。

優秀賞（中津商業 西尾咲輝さん）

一昨年度最優秀賞を出した中津商業高校からは、昨年も今年も立体的作品を中心に大変力のこもった応募作が多数あった。その中でいわゆる書籍 POP の範疇を超える造作や大きさのものは残念ながら選外となっており、本作もかなりの張り出しがあったが、許容範囲内とした。本作は課題図書の雰囲気をよく表しており、主人公ら三人の登場人物のどことなくお気楽な、しかし憂いのある寂しげな感じや、雲の上から下界へと行き来する物語状況などが、本作を一見しただけで伝わってくるようである。この図書についてはテーマの「あの世」についてかなり恐ろしげな雰囲気を醸し出す応募作もあり、それはそれでかなりアピールがあってよかったが、本作はむしろ和らいだ雰囲気である。三人三様のたたずまいも面白い。全体の色づかいも、夕景の寂しさと懐かしさを感じさせる。文字・コピーについてはもう少し形を整え強調してもよいかもしれないが、全体の雰囲気が大変よい力作である。

優秀賞（名城大学附属 風間柚花さん）

名城大学附属高校からは毎年多数の応募があり、多くの作品が紙の重ね貼りの手法を用いている。本作も構図や紙を貼る造形などは、大変オーソドックスで、全体として斬新さがあるわけではない。しかし全ての要素がほどよく調和して、落ち着いた雰囲気を出しており、絵本を選ぼうとする消費者に安定感・安心感を与えるように思われる。特に評価の高かったのはキャッチコピーの「子供の成長っていいな」である。この課題図書はともすれば怖い内容と誤解されるような表紙絵であり、敬遠されやすい本でもあるが、このコピーがそれを和らげてくれる。タイトル文字の「モチモチの木」も、安定感のある字体にしてあり、微妙に輪郭線をつけるなど、細かい工夫もある。木や全体の枠線など、よくある造形ではあるが、過度に主張してしまわず、よく抑制されて全体に調和させ、しかも造りが丁寧である。配色が若干抑え過ぎでコピーが見づらくなっていることを除けば、POPの見本とされそうな作品である。

優秀賞（羽島北 高橋有咲さん）

デザインではなくキャッチコピーあるいは「トイレ」という単語一つに絞った大胆な作品である。見方によってはふざけた感じとも言えそうだが、ちょうど課題図書の対象となる年代の子を持つ親らに見事にアピールする文言であり、消費者を捉えるポイントをよく突いた、商業 POP の王道を行く作品である。タイトルすら書かれていないが、実際の使用にあたって図書と並べて用いることを考えれば、大型絵本でもあるので問題はない。配色も、最も注意を引くとされる黒黄のトラ色に、黄を際立たせる青枠と、よく考えられている。紙面の周囲を TOILET の文字で囲むのも遊び心があって面白い。「トイレ押し」の応募作は多少見られたが、ここまで思い切ってアピールしているものは他になかった。作品としては好悪の分かれるものにも思えるが、思い切りの良さと、やはり突いているポイントの的確さから、受賞作となった。

優秀賞（岐南工業 坪内祐太郎さん）

本作は全体のデザインや構図、あるいは工夫の方向としては、多くの作品にも見られるもので、目新しさはない。課題図書が切り絵の絵本ということもあり、かなりの作品が切り絵を用いて、穴が開いているものあるいは透けて見えるもの、透け部分に色をつけたものなどが見られた。しかしその中で最も整っており、最も美しくこの手法を活用したのが本作であった。とりわけモチモチの木の輝きを表す色フィルムの使い方は、優れたステンドグラス作品を見るようで、審査員の多数にも大変好評であった。実はこのステンドグラス部分は挟み込み構造にするなど、作者が工業系学科生ということもあってか、造りが大変しっかりしており、本作は実地の使用でもかなり耐久性が高いものと思われる。木や文字等も切り絵を貼っているが、これも非常に緊密な造りで、製作に手間がかけてある。全体が多層構造で、実際の使用において大変存在感を発揮するものと思われる、力作である。